

学習における生成系 AI の利用について（第一報）

近年、ChatGPT 等に代表される生成系 AI が教育などへ及ぼす影響が指摘されています。AI の利活用は、利便性や生産性の向上、効率化など様々な効果が期待される反面、AI の信頼性、誤用・悪用などの懸念やリスクを考える必要があります。

本学としては、学生の皆さんが目的意識を持って自分自身で学習し、考えることが、知識の理解と定着に最も高い効果をもたらすと考えています。

そこで、現段階での生成系 AI を学習に応用した場合の留意事項について、下記のとおりお知らせいたします。

生成系 AI の利用に関する留意事項

1. **学習に対する姿勢**：生成系 AI では、文章や画像データなどを自動的に生成する機能があることが知られています。学生の皆さんは、目的意識を持って自分自身で考え、学習することが最も重要なので、AI の利用には十分注意してください。
2. **技術的限界**：生成系 AI で生成された内容は、技術的に虚偽が含まれていたり、バイアスがかかっていたりする可能性があります。大学で学習した内容には、正確性が求められます。課題レポートなどの内容については、信頼できる情報源を確認し、裏付けを取ることが重要です。
3. **倫理的配慮**：近年、誹謗中傷やプライバシーの侵害といった他者への攻撃が社会問題化しています。生成系 AI の内容に差別的・攻撃的な表現が含まれていないかを慎重に精査し、軽率な利用を控えることが必要かつ重要です。
4. **個人情報の流出**：生成系 AI への入力を通じて、個人情報や機密情報が意図せず流出、漏洩する可能性があることから、安易に個人情報や機密情報を AI に学習させないことが重要です。生成系 AI の種類によっては、入力の内容を生成系 AI の学習に使用させない（オプトアウト）ことができます（※ChatGPT はオプトアウト申請可能）。
5. **著作権の侵害**：生成系 AI が生成した文章は、他者の著作物から引用されている可能性があるため、無意識に著作権を侵害している場合があります。内容を精査することが重要です。
6. **自己責任のもとでの利用**：AI が生成した内容を利用したことで何らかの問題が発生した場合の責任は、自分自身にあることを自覚しましょう。

なお、生成系 AI が作成した文章などの出力結果は、使用した学生自身で考えたものではありません。それらを課題レポートや文章の執筆などにそのまま使うことは、剽窃や不正行為に当たると認定されることがあります。生成系 AI 使用の限定および禁止、またその行為による罰則等は、各授業科目により異なります。

使用については、担当教員の指導に従ってください。